

# 第9回（2024年度）日本アレルギー学会 働き方改革推進奨励賞受賞者



日本アレルギー学会では、ワーク・ライフバランスの向上に関する経験や工夫はすべての会員に有用であると考え、2016年度より「奨励賞」を設け、男女共同参画の理念も含めた働き方改革活動を積極的に推進している会員、または所属機関を表彰・広報しております。2024年度の第9回日本アレルギー学会働き方改革推進奨励賞は、会員及びその所属団体を対象に、学会誌及び学会ホームページにて公募し厳正なる選考の上、2025年1月の理事会において以下の通り受賞者を決定いたしました。なお、授賞式は本年10月25日、第74回学術大会の働き方改革推進委員会企画セミナー内にて行われる予定です。

## 受賞者

### 板澤寿子 先生（埼玉医科大学小児科）

板澤先生は、前任地、富山大学小児科にて、医局員の女性比率が高くなる過渡期において病棟医長、外来医長として小児科医局員の研究、教育、学会参加、診療配分（当直など）のマネジメントを行い貢献をしてこられました。

今年、埼玉医科大学小児科教授に就任し、働き方改革が本格的に始動する変革期において、開業する医局員がいる中、男女を問わず大学小児科医局員の研究奨励、学会参加意欲の向上に取り組み、ライフプランをきいてキャリアの方向性をアドバイスし、勤務形態マネジメントをおこなうなど新しい大学小児科医局のあり方を模索しております。また埼玉という地域において、医師偏在がみられており、小児医療およびアレルギー診療の均霑化に取り組む意欲もあり、今後の活躍が期待できます。

### やまぐち呼吸器内科・皮膚科クリニック

このクリニックでは、夫婦で共同して呼吸器、皮膚疾患に関してプライマリーケア管理を行いつつ、全身アレルギー、気道アレルギーの専門性の高い診療を行うとともに、実地医療に即した分野での研究発表を継続しながら、諸事情により基幹施設では勤務が難しい薬剤師や看護師に勤務体制あるいは待遇に関する配慮しながら、キャリア形成が可能となるよう院内体制を維持しています。

また、予防医学の観点からの活動や地球環境保護活動、そして次世代の人材育成にも注力し、横浜市聖灯看護学校での講義を通じて医療教育の質向上に貢献しているほか、学校に通うことが困難な子どもたちの学びの場を提供する「かけはし」への支援も行い、全ての子どもたちが自分の可能性を広げられるよう後押しなど、多様な取り組みを実践しています。